

DECISION

Protest by RC

Request No.: 05

Event: 日建・レンタコムカップ 第31回全日本学生女子ヨット選手権大会 (All Japan Univ. Women's Sailing Championship) Race Number: 4
Hearing Schedule: 2023-09-24 17:50

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 05: Race Committee

国際スナイプ級 - 18 - Japan 31215 - 31215 - 住思寧 住思寧/高橋彩純

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Beyond with Good Reason

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Hail not required

レース委員会は規則61.1(b)に基づき、公式掲示板にて抗議の意思を通告した。

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

レース委員会の代表者として眞當哲博氏が出席した。

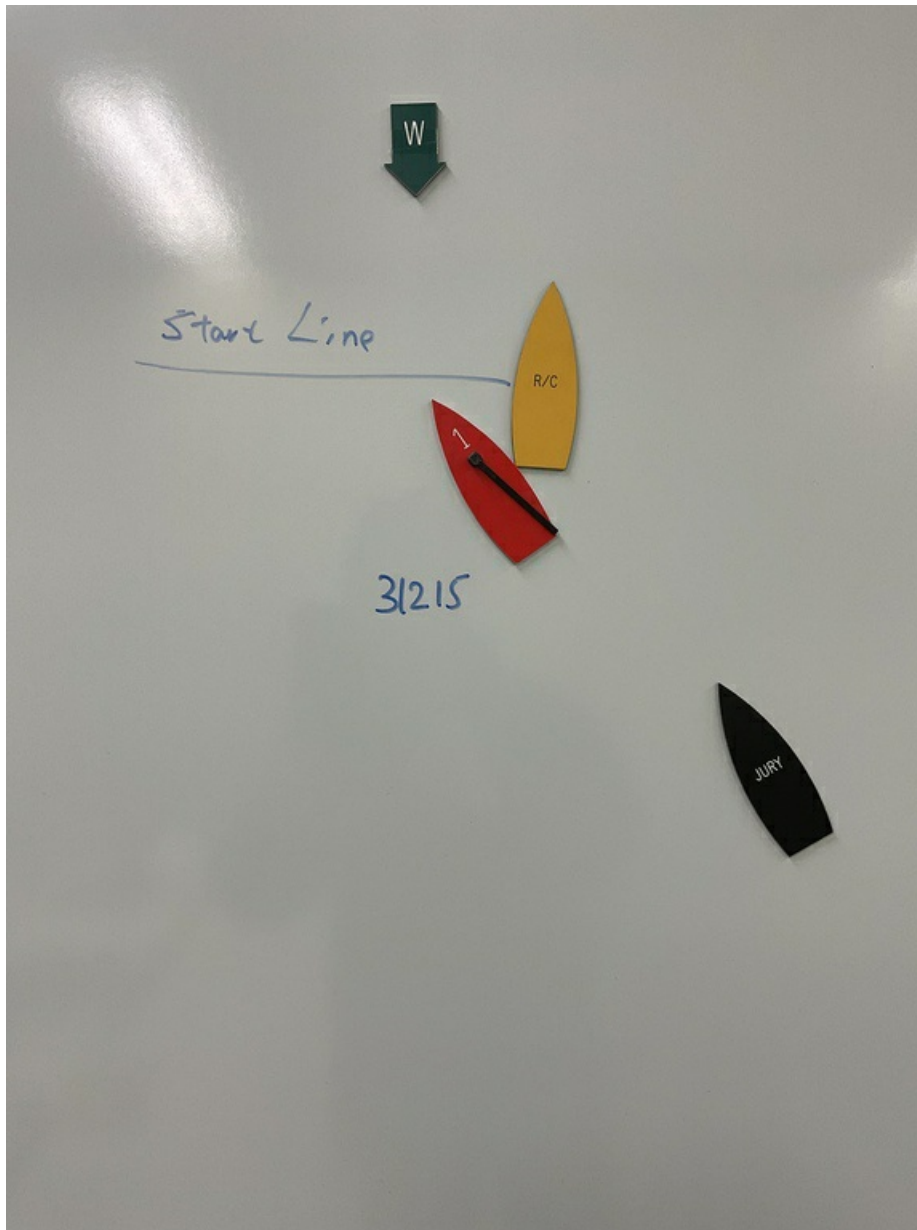
艇31215の代表者は審問の場に現れなかったため、規則63.3に基づき、当事者不在で審問の手続きを開始した。

当事者の確認中に、艇31215の代表者として住思寧氏が現れたため、そのタイミングから艇31215の代表者を参加させて審問を開始した。

申立人はRRS.orgの記載がうまくできなかったため、プロテスト委員会にて入力方法の説明を行ったため、審問要求書の提出が抗議締切時刻を超えた。

プロテスト委員会の伊藤がインシデントを目撃したプロテスト委員会のメンバーとして証言した。

FACTS FOUND



C603FDA4-D2B5-4E8C-A691-D057A30B97AC.jpeg 4.05 MB

- ・国際スナイプ級の第4レースの風速は8m、波高は0.4mだった
 - ・スタート信号時に、艇31215はスターボードタックで、クローズホールドの角度より風下側を向いて微速前進していた。
 - ・スタート信号から1秒後、艇31215は風下の艇のラフィングに合わせて、ラフィングをした。
 - ・その時、艇31215のスターボード側のガンネルの中央部分が、スタート運営艇のポート側のトランサムとトランサムに取り付けた角度表示板に接触した。
 - ・艇31215はスタートし、フルハイクをしてクローズホールドでの帆走を開始した。
 - ・艇31215はペナルティーを履行せず、コースの帆走をしてフィニッシュした。
-
- ・レース委員会の代表者はスタート運営艇のポート側のトランサムで、角度表示板を支えていた。
 - ・証言したプロテスト委員会の代表者は、ジュリーボートで艇31215の1艇身後方風上側でホバーしていて、艇31215とスタート運営艇との接触を視認した。

Diagram: Protest Committee diagram attached

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 規則31

艇31215はレース中に、スタート前のスタート・マークであるスタート運営艇に接触した。

艇31215は規則31に違反した。

第4レースにおいて、艇31215を失格（DSQ）とする。

PROTEST COMMITTEE

Committee Type Protest Committee

Chaired By: Ito Hirotaka (JPN)

Committee Members: Kureha Yamamura (JPN), Masayoshi Mizoguchi (JPN)